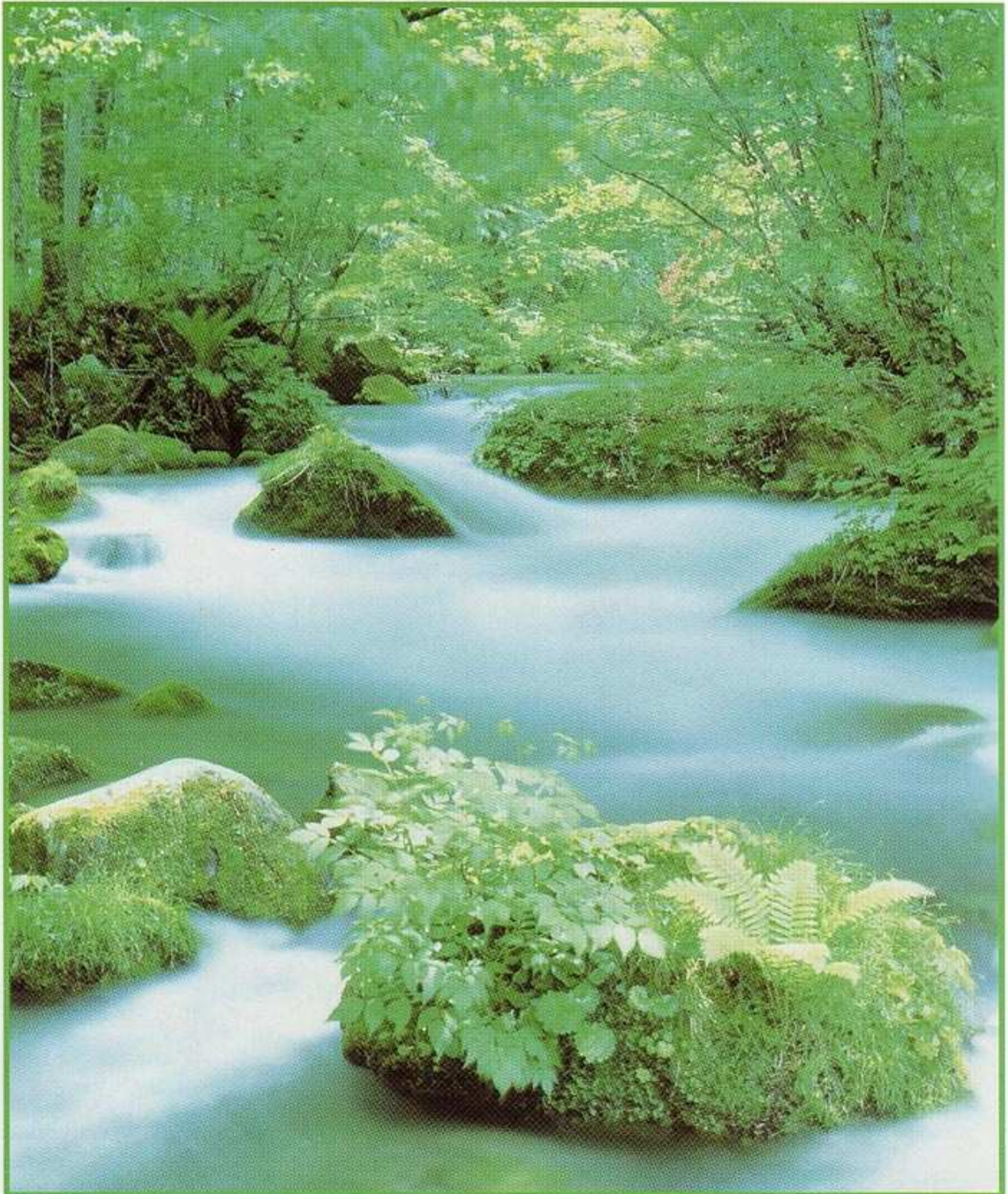




# 三重電気会報

平成10年8月発行 第79号





# 平成10年度 通常総代会開催 青山理事長・会長 再任

五月二十三日、松阪市「フレックス」ホテルにおいて、工業組合第33回通常総代会を開催した。  
総代100名中87名（委任出席14名）が出席、13時00分三井（義）理事の司会により

開会、議長に岡野常任理事を選出、議案審議に入った。

第一号議案より順次審議原案通り承認可決。

第五号議案の役員任期満了による役員改選は、別項のとおり新役員が選出された。

休憩をはさみ、開催された理事会において役職が決定、承諾就任された。

引続き関連事業の報告承認をもって15時00分終了。

つづいて15時30分から協力会第53回通常総代会を開催、田中理事の司会により議長に、岡野常任理事を選出、議案審議、満場一致承認可決。

役員の任期満了による改選についても、工業組合同様指名推薦で満場異議なく承認された。

引続き別項の通りそれぞれの表彰を執り行った後、青山理事長（会長）の就任あいさつを受け、植田副会長の閉会のことばをもって16時30分閉会した。

## 就任ごあいさつ

三重県電気工業組合理事長  
三重県電気工事協力会会長

青山 登志男

このたび五月二十二日に開催された工業組合第33回  
・協力会第53回総代会において理事長・会長に再選さ



あいさつする青山理事長・会長

れまして大変光栄に存じますと共に責任の重大さを痛感致しております。

さて、今更申すまでもなく、昨年より続いている経済の伸び悩みと相次ぐ不祥事が多発し、私たちに関連のある建設業界も昨年同様、景気は回復の兆しも御座いません。

先日の新聞に財界人の対談の中で、本年どころか、来年も景気は良くなる要素はなく、しばらくは続くと言っています。

先月、政府が打ち出した総合経済対策が過去最大の十六兆六千五百億と発表されました。

その中でも減税四兆六千億、公共投資七兆七千億ですが、これによって景気は良くなるだろうと、多少の

(3面へつづく)



植田副理事長  
(副会長)



倉田副理事長  
(副会長)



楠副理事長  
(副会長)

(2面よりつづく)

期待は持っています。

バブル崩壊前の好景気であった時代には程遠く、当分は期待出来ないと思われ  
ます。

現在の景気動向こそが本  
来の姿のように思えてなり  
ません。

どの企業も体力の消耗に  
より、苦しい経営を強いら  
れています。

公共工事、民間において  
も多くは期待を持ってない中、  
私たち業界も長引く不況に  
耐えながら今日まで来まし  
た。

これからの生き残りには、  
目先の受注にとらわれる事  
なく利幅の少ない工事は無  
理せず、じっと我慢の時な  
のです。

そのためにもお店の無駄  
な経費を切りつめ、少しで  
も合理化を図りながら景気  
の回復を待つかあります  
せん。

これからは、技術の研鑽  
や自社の経営の見直しを行  
い、体力を付ける事が大切

かと思えます。

電気設備も高度情報化の  
進歩に伴う、技術力の習得  
が必要です。

幸い、県工組ではマルチ  
メディア化情報先行配線シ  
ステムにいち早く取り組み  
研修会を計画しました。

すでに桑名支部から順次  
研修を実施しております。  
一日の講習で終了証を発行  
する事になっております。

少しでもお店の売り上げに  
つながればと、思っていま  
す。

このように、新分野の開  
拓に生き残りをかけて、役  
員一丸となり会員共々、不  
況の中を乗り切っていくよ  
う頑張り、一人の落伍者も  
出さないよう皆様と共に、  
団結を強めて行くよう努力  
して参りたいと思えます。  
終わりに当たり、組合の一  
層の発展と、会員皆様のご  
繁栄とご健勝を祈念致しま  
して、私の挨拶と致しま  
す。

### 総代会にて 表彰された皆さん

#### 一、特別優良技能店表彰伝達

(中部電気工事協力会連合会会長表彰)

- 久居 武村電気商会
- 松阪 芦田電器
- 志摩 光電気工業所
- 四日市 岡部電気工事

#### 二、安全推進優良工事店表彰

(協力会：十六店)

- 津 電化ショップタカノ
- 久居 星合電設
- 上野 竹田電機工業所
- 名張 ナガセ電設
- 松阪 太陽電気商会
- 大台 岡島電気工事店
- 尾鷲 (仰)紀北電工
- 伊勢 (仰)油家電気工業
- 鳥羽 上村電気商会
- 志摩 川添電気工事
- 四日市 日沖電設
- 富田 石河電子工業
- 桑名 (仰)誠電
- 員弁 (仰)三光電機工業所
- 鈴鹿 橋本電気
- 龜山 (仰)永田電気工事

#### 三、優良工事店感謝状

(中部電力(株)：十店)

- 久居 (仰)日興電機商会
- 上野 (仰)明光電気通信工業
- 名張 橋岡電機商会
- 大台 大宮電工
- 尾鷲 尾鷲電設(株)
- 伊勢 若宮電工
- 志摩 徳田電工
- 四日市 川口電気工事(株)
- 員弁 多湖電気商会
- 龜山 松井電気

#### 四、小規模工事優良支部表彰

(協力会：四支部)

- 尾鷲支部
- 四日市支部
- 員弁支部
- 龜山支部

#### 五、退任役員感謝状(理事長)

- 名張支部 福森誠之助
- 伊勢支部 小川 和男



### 組合の活性化に

#### 向かって

総務委員長 楠 修次



引き続き総務を担当させて頂くことになりました。皆様の倍旧のご指導ご協力を心よりお願い申し上げます。

さて、本年度の重点活動ですが、初めに総代会でご報告のとおり組合員数が年々減少し、昨年一ケ年で七名の減となりました。この傾向は、後継者不足等の要因により一段と増幅されるものと予測いたしております。

この様な中、組合事業の無駄をなくし、より効率運営に努めることは勿論であります。本年度は、第一種電気工事士定期講習も実施され、これにより安定的財源確保もできますので、損失金の補填により繰越損

失金の減少に努めたいと考えております。

次に魅力ある業界づくりであります。

遠大なテーマでございますが、何はともあれ下請体質からの脱却であります。したがって、分離発注なくして何の進展も期待できません。

三設連を軸に分離発注促進を市町村に至るまで積極的に展開します。

それぞれ地元の皆様のご支援をお願いしますと共に、建設業許可の取得をはじめ受注体制の強化に努めていただきたいと存じます。

最後に、今、二十一世紀を目前にして新しい時代への対応を誤らないよう心がけながら、微力ではござい

ますが、責任を果たしたいと思えます。改めて皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 福利厚生の実

厚生委員長 三井 徳男



さる六月の理事会に於いて厚生委員長を四度拝命致しました。よろしくお願い致します。

事業具休化について

- ① 健康診断助成による健康管理の推進
- ② 国民年金基金、厚生年金基金の加入促進、特に

国民年金基金は本年度で八年目に入りましたが、加入率は微増であります。

両年金基金は、将来、支給等について、大丈夫かとの懸念される方も多いと思えますが、国民年金は非営利の公的年金、また、厚生年金は国に代わって運営しております。いずれも現在安定的な資産運用により、支払い等に支障をきたすことはありませんのでご安心下さい。

会員の皆様は、この現状をご理解いただき、入会をお勧め致します。なお、各支部は、最低一件を目標に鋭意努力をされますようお願いいたします。

- ③ 東海電友共済会への加入促進
- ア 退職金共済への加入
- イ 災害補償共済への加入
- ④ 第三者損害賠償保険について

本年度で、制度発足以来二十年を経過いたしました。損害率も昨年、本年と約五〇％となり、発生件数も減少傾向にあります。これも

皆様の事故防止に対する努力によるものと感謝申し上げます。

しかしながら、誤結線事故の比率は十九件の内七件で三七％といまだ高く、対前年比、二％増となっております。さらに誤結線事故撲滅に一層のご協力をお願いします。

福利厚生の実が経営基盤・雇用の安定、労働意欲の向上等に直結するものと確信いたします。

### 技術向上をめざして

技術委員長 岡野 秀隆



今回の執行部の改選により技術委員長を拝命致しました。

技術委員会の事業も各支部より技術委員として一名出席を頂くことになり、充実化をしてまいりました。保安講習については、三重県職能開発センターによ

## 各委員長の抱負

### 平成十年度



る有接点リレーシーケンス制御の講習会を各支部単位に於いて実施、一四四名が受講され終了証を取得していただきました。今年度も継続事業として南勢地区を中心に事業を進めてまいります。又、すでに実施しておりますが、先行情報配線工事の研修会は、第一回目で店主を対象としておりましたが、十年、十一年度で従業員を含むすべての会員の認定証の取得を目指してあります。

引込工事店を対象とする昇柱訓練は、中部電力様の指導により、安全推進会議で年二回、引込契約に於いては年一回訓練を行う事となっておりますが、訓練終了の証として腕章を各店に一章を造り作業時に付けていただきたく考えております。

その他に、  
一、高所作業車実務講習  
一、新技術の講習会  
以上、技術委員会の主たる事業内容を羅列しましたが、各支部皆様の御協力をお願い致します。

## 委員会事業

# 魅力ある業界づくり

### 電気工事店経営

#### 近代化にむけて

経済委員長 林 照己



再度、経済委員長を拝命致しました。宜しくご鞭撻をお願い致します。

業界の経営環境は厳しい状況にあります。会員皆様の斬新な発想と、弛まぬご努力により、この難局を克服して頂きますようお願いしております。委員会は、組織の力で成すべきことを協議、推進せねばならないと考えております。

昨年「組合情報化促進企

画調査事業」で皆様に貴重なアンケートを頂きました。これをもとに今年度、組合事務局の事務機械化の実現策を検討致します。これが導入の暁には、組合員、電力会社、その他をインターネットで繋ぎ、事務処理の合理化と情報発信、収集の能率を向上させ、組合員各店の、経営の近代化と効率アップに役立つ「システム」を構築すべく研究協議を進めてまいります。これを実現するには、組合員皆様のご理解とご協力が必要であり、絶大のご支援をお願い致します。

再度広報委員長を拝命致しました。会員皆様方の御支援をいただき無我夢中で前期二年間努めさせていただきましたが広報としての成果を挙げる事が出来たか自問自答している所です。半世紀以上にわたる長い歴史と実績を誇る我々の業界、二十一世紀に向けて益々と重要視される技術力と英知、時代の流れに即した対応を求められ広報委員会としてもその重責を思う時、身が引締まる思いです。



会報を通して理解を  
広報委員長 村脇 謙

ります。年三回の発行ではありませんが、本部がどのような事に努力し導いて行うとしているか、又会員の皆さんが何を望んでいるかを一刻も早くお伝えするのが使命と思っています。各委員会と連係を計り新しい技術、安全教育、福利厚生、若年労働力の確保、誤結線の問題点など深く掘り下げお伝えする事は勿論、各支部の活動・話題等を掲載し、シリーズ「わが町紹介・町の名物さん」等ローカルなたのしく読みやすい会報作りを努めたいと思っております。投稿をよろしくお願致します。

バブル崩壊後私達の環境も厳しく先の見えない不安な日々ではありますが、昨年は理事長の国家表彰を始め大臣・知事・各種団体より数多く受賞されました。この事は我々の業界が公に認められた事であり実力・実績が評価され喜ばしい事です。今後共広報委員会は業界の地位の向上に努めたいと願っています。



## 平成10年・11年度委員会構成

(平成10年6月)

担当	委員会	委員長	副委員長	理事委員	委員	
楠	総務委員会	楠 修次〔津〕	梶 昭夫〔富田〕	三井 徳男〔志摩〕 岡野 秀隆〔松阪〕 村脇 謙〔上野〕 林 照己〔龜山〕 村山 伸一〔四日市〕 川瀬 宗雄〔員弁〕		8名
植田	技術委員会	岡野 秀隆〔松阪〕	小野 利幸〔鈴鹿〕	三井 義雄〔大台〕 西野 勇蔵〔伊勢〕 竹野 弘〔鳥羽〕	伊藤 信幸〔津〕 魚見 久志〔久居〕 石原 和夫〔上野〕 西口 博嘉〔名張〕 岩田 泉〔尾鷲〕 福中 将〔志摩〕 大西 宣義〔四日市〕 池田 卓三〔富田〕 服部 孝吉〔桑名〕 日沖 辰哉〔員弁〕 笠井 正也〔龜山〕	16名
植田	厚生委員会	三井 徳男〔志摩〕	竹野 弘〔鳥羽〕	三井 義雄〔大台〕 川瀬 宗雄〔員弁〕	長谷川 利男〔津〕 北出 和弘〔久居〕 山本 一雄〔上野〕 北川 博之〔名張〕 近藤 剛〔松阪〕 森本 恭弘〔尾鷲〕 宮内 道廣〔伊勢〕 藤井 統吾〔四日市〕 野呂 昌宏〔富田〕 伊藤 弘〔桑名〕 中西 孝尚〔鈴鹿〕 大森 孝介〔龜山〕	16名
倉田	経済委員会	林 照己〔龜山〕	伊藤 満三〔桑名〕	飯田 秀綱〔久居〕 田中 康彦〔尾鷲〕 織田 雅夫〔四日市〕	山本 慎昭〔上野〕 角谷 徹〔松阪〕 北井 和義〔伊勢〕 山本 典之〔志摩〕	9名
倉田	広報委員会	村脇 謙〔上野〕	繁田 義久〔津〕	亀澤 良和〔名張〕 村山 伸一〔四日市〕	福田 敏一郎〔松阪〕 森井 貞彦〔大台〕 下井 貢〔伊勢〕 黒田 和好〔桑名〕 篠原 計〔龜山〕	9名
	共同保守管理	(統括管理責任者) 青山登志男〔松阪〕 (委員長) 倉田 隆〔四日市〕	植田 昇〔伊勢〕 楠 修次〔津〕	三井 徳男〔志摩〕 岡野 秀隆〔松阪〕 村脇 謙〔上野〕 林 照己〔龜山〕 村山 伸一〔四日市〕 梶 昭夫〔富田〕 川瀬 宗雄〔員弁〕 繁田 義久〔津〕	—————	12名
	安全推進会議	(主査) 青山登志男〔松阪〕	植田 昇〔伊勢〕 倉田 隆〔四日市〕 楠 修次〔津〕 三井 徳男〔志摩〕 岡野 秀隆〔松阪〕 村脇 謙〔上野〕 林 照己〔龜山〕 安藤 順二〔トキ、ト〕 繁田 義久〔津〕 飯田 秀綱〔久居〕 亀澤 良和〔名張〕	三井 義雄〔大台〕 田中 康彦〔尾鷲〕 西野 勇蔵〔伊勢〕 竹野 弘〔鳥羽〕 村山 伸一〔四日市〕 織田 雅夫〔四日市〕 梶 昭夫〔富田〕 伊藤 満三〔桑名〕 川瀬 宗雄〔員弁〕 小野 利幸〔鈴鹿〕	(中部電力) 配電課 課長 (幹事) 鈴木 勝 西崎 和弥	26名
	会館建設委員会	(統括責任者) 青山登志男〔松阪〕 (委員長) 倉田 隆〔四日市〕	植田 昇〔伊勢〕 楠 修次〔津〕	三井 徳男〔志摩〕 岡野 秀隆〔松阪〕 村脇 謙〔上野〕 林 照己〔龜山〕 田中 康彦〔尾鷲〕 川瀬 宗雄〔員弁〕 小野 利幸〔鈴鹿〕		11名

桑名市

# 高齢化社会の 到来を迎えて



(桑名市・四日市市・伊勢市・鳥羽市)

いよいよ二〇〇〇年に介護保険法が施行されます。少子・高齢社会の到来を目前に控え介護保険の導入により、将来安心して老後を迎えることができるのかと思っていたのですが、そこにはまだまだ混乱が予想さ

れそうな出発のようです。私が介護に興味を持つきっかけは、やはり両親の相次ぐ入院による家族の負担です。寝たきり状態になったら面倒見る者は自分、その重圧感で不安いっぱい。どのくらいの介護が受けることができるのでしょうか。「介護保険は被保険者の要介護状態又は要介護状態となるおそれがある状態に關し必要な検討を行うものとする」一体「要介護状態」や「要介護状態になるおそれのある状態」とは誰が判断を下すかというと、市町村による調査担当者を申請者の家に派遣し、サービスを受ける高齢者本人に面接し、「心身の状況その置かれていて環境その他厚生省令で定める事項について調査」を行い、要介護認定の基礎資料が作成される。この調査報告に主治医及び市町村で医師を指定し診断を受け市町村で設ける「介護認定審査会」で認定が行われ結果が通知される。この

ランクは省令によって定められるようですが、全国には人口も少なく独力で審査委員会の機能の果たせない町村も考えられ、判定をめぐる混乱も予想されます。判定者の私的感情も含まないとは言いがたいのではないのでしょうか。現にモデル調査によると厚生省の調査票での判定と専門家の判定では三〜四割程度の食い違いが見られたといえます。同じような身体状態でも、市町村によっては認定に違いが生じる可能性があるという事は将来あの市町村は認定が甘いと聞けば住民票だけでも移すという人だって出てくるのではないのでしょうか。介護保険についてある程度の負担は覚悟していても「これだけの負担でこれだけのサービスが受けられる」というケアミニマムが示されなければ国民は納得できませんよね！

桑名支部 渡辺

四日市市

# 四日市名物 「なが餅」の由来

四日市の名物は何と言っても、なが餅である。二十センチたらずの細長い餅の中に、あんが入っているだけのものである。無愛想な朴訥な形のお菓子であるが、この「なが餅」をつまむと、静かに口の中に甘さがひろがると同時に、なぜか菜の花一面の田のあぜを走っていた、幼い日の自分の姿が浮かびあがってくる。



全国菓子博各賞受賞



武運のながき餅を喰うは幸先よしと大いに喜びたり、果せるかな、後年志を得て大名なるや、笹井屋彦兵衛を召され、先年の礼を述べ厚く遇せられた、戦国秘話は今も伝えられる、東海道随一の名物である。

四日市支部 T・K



伊勢市

# 心休める旅の お薦め

「伊勢に行きたや、伊勢路が見たや、せめて一生に一度でも」昔こう歌われた伊勢神宮へのお参りは「お蔭参り」となり、江戸時代には、一大ブームを巻き起こし、多くの人々が伊勢神宮に訪れました。

今や時代は変わり、いつでもどこへでも出かけられる今日となりましたが、少し趣向を変えて身近なところで伊勢神宮を訪れてみてはいかがでしょう。お正月の初詣も結構ですが、普段の日にものんびりと訪れるのも又、趣きがあるものです。新緑の神宮林・五十鈴川のせせらぎ、鳥の声、玉

砂利の音、そこにはきっと忘れかけていた何かがあるはず。時間を気にせずゆっくりのんびり……心の洗濯のつもりで訪ねてみてはどうでしょう。

すると、なぜ昔の人が、「せめて一生に一度でも」と伊勢参宮をこい願ったのか、その答えが不思議と貴方の心の奥底から聞こえてくるかも知れません。

人生あせらず、ゆっくりと、こういう時代だからこそ心を休める旅をお薦めします。 伊勢支部 C・K

鳥羽市

## 菅島の 「しろんご祭り」

鳥羽市は、神島、答志島、菅島、坂手島の四つの離島に志摩半島の岬または入

江に点在する町ありと地域が分散していて、まるで日本の縮図のようです。

こんな特徴を持った鳥羽市の産業は、主に観光業と水産業ですが、漁業の盛んな離島では、古くから伝わる祭りが多いです。その祭りの中でも、菅島町に伝わる「しろんご祭り」を紹介したいと思います。

簡単にいえば海女の祭りですが、万葉集、古今集等に海女に関する記述があることから海女は相当古くから、この地方で活躍していたことがわかります。

そうした古い歴史を持った海女が、青い浜辺と青々とした磯にもぐり一斉にあわび獲りをするのである。

白い磯着の乱舞する群像はまさに一幅の名画であり、他の地方では一寸見られない光景でもある。この菅島の「しろんご祭り」はあまりにも有名で、最近は関東、関西まで知られ、年々観光客が押しかけてくる「しろんご」は菅島独特の

なまりで、本当は白髭明神の神祭であり、白髭（しろひげ）がなまって「しろんご」になったのではないかと云われています。

毎年七月十一日の祭礼の日には、菅島の全漁船が大漁旗をなびかせてしろんごの浜に集まり、ホラ貝を合図に、白い磯着を着た海女さんがそれぞれ磯桶を持って波打ち際まで行く。静かに神に祈りを捧げて体を冷し、コンコンと磯桶の縁をたたく（これは海の悪魔を退けると云われている）このコツコツコンコンという

素朴な音は、白浜にこだま



して、不思議なくらい荘厳な響きとなって人々の胸を打つ、一斉に入水し海女作業に入る。息をつめて見守るうちに、やがて一番あわびを獲った海女が、高々と片手をあげて名乗りでる。浜はどっと沸き返る。そして彼女は、船板に大きな雄貝雌貝をのせ、ぬれた磯着のまま神社の鳥居をくぐり白髭明神に奉納する。

二度目のホラ貝を合図に、海女作業は終わるが、島の人々も次々に参拝し、一年間の海上安全と大漁をお祈りして祭りは終わります。

今年、白髭神社の二十一年に一度の御遷宮の年で、六月には無事に新社殿が竣工しました。合わせて観光旅館組合主催の「海女さんカーニバル」も共催されることになり、にぎやかな祭りになりそうです。

鳥羽には、まだまだ変わった祭りがたくさんあります。一度見に来て下さい。

鳥羽支部 木下美喜雄



事故による保険金の支払いは、  
保険会社の資金ではなく、皆様  
方の掛け金の中から支払われて  
います。

### 参与の異動

10・5・1  
伊藤 重明 (㈱中部電気管理技術者協会三重支部長)

10・7・1  
前川 昌久 (中部電力㈱) 三重支店 名張営業所長  
市川 清和 (中部電力㈱) 三重支店 尾鷲営業所長  
石田 厚夫 (中部電力㈱) 三重支店 鈴鹿営業所長

### 関係団体の表彰

つぎの方々が各関係団  
体から、晴れの表彰を受  
けられました。おめでと  
うございました。

10・5・28  
全日電工連会長表彰  
(役員功労)

伊勢支部 植田 昇  
伊勢支部 小川 和男

## もっと、身近になった氷蓄熱式空調システム エコアイスに mini が新登場

〈5馬力、6馬力、7馬力タイプ〉

- 【環境にやさしい】店舗・オフィス向け氷蓄熱式エアコン
  - お得な夜間電力を昼間の冷暖房に利用
  - さらに国の補助金制度を有効活用し、いわば「うちのこづち」です!!

国の補助金制度で皆様をバックアップ!!

- 〈補助金の交付対象となる空調設備〉
- ・10馬力未満のエコアイス (エコアイス mini)
  - ・ピークシフト率40%以上の個別分散型エコアイス
- 〈補助金の交付率〉
- \*非蓄熱式空調システム設置費 (工事費含む) との差額の1/2相当
  - \*使えば差が出る蓄熱空調システム!!

環境に優しい空調システムです!!

- 排気ガスを出さないクリーンな空調システムです。
- 昼間に比べて化石燃料による発電の比率が低い夜間電力を蓄熱に利用することからCO<sub>2</sub>などの排出量を減らします。
- \*まさに環境重視の空調システム!!



- 国の補助金関係の申し込みが平成10年7月からスタートします。  
詳しくは、最寄りの中部電力営業所または上記フリーダイヤルまでお問い合わせください。